

例会報告：2011年9月20日（曇） 第1720回例会

❖ ビジター

中村 健作様 (小田原北RC)
阿部 正弘様 (小田原中RC)

❖ ゲスト

程 彩霞さん (米山留学生)

❖ 奥様・ご主人誕生日

菊地 晶子さん (9月22日)
所 浩美さん (9月24日)

❖ ニコニコ箱

須賀 俊和 委員

	9月20日分	累計	目標
ニコニコ箱	9,000	344,500	1,500,000

* ビジター

中村 健作様 (小田原北RC) …お世話になります。本日も宜しくお願い。

阿部 正弘様 (小田原中RC) …宜しくお願いします。

* 奥様・ご主人誕生日

菊地 義雄さん…妻の誕生日のお祝いありがとう。

* その他

菊地 義雄さん…中国の少数民族を日本の人間国宝と訪問しました。現地の政府が歓迎の宴を催してくれました。

大谷 宏さん…

1、河野さんの友情に感謝します。
2、先週、滋賀県にある井上誠一設計の有名な瀬田ゴルフクラブに行き、2連ちゃんしてきました。井上誠一設計のコースは現在38コースありますが、超名門コースばかりです。

小嶋 章司さん…白い彼岸花をはじめ見た時はびっくりしました。最近では私の家の庭でも咲いています。「赤い花なら曼珠沙華」そんな唄もありましたね。

内山 修一さん…すみません、中途退席させていただきます。

久保田 知子さん…所用で北海道にいます。一日延びたため本日の例会は欠席します。すみません。

■ ■ ■ メーキャップ情報 ■ ■ ■

-2011年9月-

- ▶ 28日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
- ▶ 29日(木) 小田原中 報徳会館 17:30 (通常例会)
- ▶ 30日(金) 湯河原 移動例会 M.U.受付なし

足柄 夜間例会 M.U.受付なし

-2011年10月-

- ▶ 3日(月) 小田原 報徳会館 12:30
- ▶ 4日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
- ▶ 5日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
- ▶ 6日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
- ▶ 7日(金) 湯河原 12:30 ニューウエルシティ湯河原
- 足柄 おんりーゆー 12:30
- ▶ 9日(日) 小田原城北RAC 10:00~16:00(市内施設見学)
- ▶ 10日(月) 小田原 振替休日 休会
- ▶ 11日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
- ▶ 12日(水) 小田原北 家族親睦会 M.U.受付なし
- ▶ 13日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
- ▶ 14日(金) 湯河原 12:30 ニューウエルシティ湯河原

足柄 地区大会(10/16)に振替 例会なし

◆ ◆ ◆ 祝! ◆ ◆ ◆

RI会長賞 (RC、RAC) を受賞

表彰式は本会議10月16日15:00より

国際ロータリー第2780地区
2011~12年 地区大会

10月15日(土)~16日(日)

場所: 横須賀芸術劇場 及び
メルキョールホテル横須賀

ROTARACT CLUB

RAC 会員募集中

相応しい会員をご紹介ください!

会員数：52名

【小田原城北ロータリー・クラブ】

事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：<http://www.odawarajhrc.jp> Mail：info@odawarajhrc.jp

例会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30~13:30
クラブ会報委員会 編集長：金山慶昭 監修：井上 寛 コピーライター：大川 誠 デザイン：小林和彦 フィールド：須藤公司



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2011-2012
WEEKLY BULLETIN



REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY
こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

本日の例会：通常例会（第1721回）

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2011年9月27日 12:30~14:30
司会：柳井 渉 副幹事

12:30	開会点鐘：杉崎 勝成 会長 ローターソング斉唱 「それでこそロータリー」 スピーカーおよびビジターの紹介 食事 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告/出席報告/委員会報告 同好会報告/ニコニコ箱
13:00	ガバナー公式訪問 担当:執行部 [講演] RI2780地区ガバナー 森 洋 様
13:30	coffee break
13:35	質疑応答
14:30	閉会点鐘：杉崎 勝成 会長

ロータリー情報

「道徳律」(2)

前号のつづきの前に「道徳律」の前文を紹介しておきましょう。

「事業を営むにあたって心得とすべき規範には、我々共有の人間性に対する思いやり、という韻律がなければならぬ。事業上の取引、願望、交渉にあたっては常に社会の一員として、最高の義務感に思いをいたすことが先決である。事業上の如何なる立場に置かれても、如何なる責任を負わされても、私の関心事は、私が、その責任を果たし義務を遂行することによって、人類の理想と成果を、自分がそれに取り組む前より少しでも引き上げることが出来たかどうかにかかっている。

—以下前号のつづき—

第6. 事業を営む場合には、同業者と同等又はそれに優る完全なサービスを提供しよう。若しそれに自信が持てなければ、採



【会 長】杉崎 勝成
【副会長】杉山 市好
【幹 事】辻村 彰秀
【副幹事】柳井 渉
【会場監督】村瀬 雅實

楽しく学ぼう、奉仕の為に

【今後の例会・卓話スケジュール】

10月4日 通常例会(RC) 12:30
担当: 中野 明会員
卓話: 程彩霞 様(米山奨学生)
「私のめざす人生」

10月11日 夜間例会(RC) 17:30
担当: 執行部
会場: 二宮神社 報徳会館

10月18日 通常例会(RC) 12:30
担当: 指導者育成委員会
「ロータリーの寄付について」

10月25日 通常例会(地域文化) 12:30
担当: 金山 慶昭会員
卓話: 平井 太郎 様(社会学者 博士[学術] 日本女子大学講師)
「小田原の邸園について」

算上厳しい限度を越えても、それを上回るサービスを心掛けよう。

第7. 専門職務又は事業に携わる者にとって、最大の資産は友人であり、友情の故に得られた便益は何れも皆極めて道徳的にして目つ正当なものとして理解しよう。

第8. 真の友人とは、互いに何等求める所のないものである。されば利益のために友情の絆を濫用することは、ロータリーの精神に反するのみか、この道徳律を冒瀆するものである。

第9. 現実の社会秩序に照らして、明らかに自分以外の人には与えられない様な、ある種の機会に不当に乗じて個人的成功を収めることは、適法目つ道徳的とは認められない。また物質的成功を得るために、世人が道徳的に問題ありとして避けるようなことに、断じて私は手を染めない。

—次号に続く—

指導者育成委員会
(文責：井上 寛)

例会報告：2011年9月20日（曇） 第1720回例会

会場：小田原卸センター内会議室
時間：12:30～13:30

❖ 会長挨拶



杉崎 勝成 会長

皆さん今日は
本日の卓話は新世代奉仕委員会担当で新世代フォーラムを行います。新世代育成委員会チャリテープログラム中村・鈕持両委員長より。チャリテと義援金先の選びのテーマで行います、宜しくお願いします。又新会員の田上君が毎週、東日本大震災の災害地に入り、かなりの情報を持っており、情報提供及びコンタクトをして頂きたいと思ひます。鈕持委員長の御指導で宜しくお願い致します。

さて、東日本大震災から半年以上がたちましたが依然として、復旧復興のめどが立っていません。ロータリーに関しても同じような問題が生じておりますので報告をさせていただきます。実は8月9日と会長幹事会で討論をしてきました、はっきりしてから報告をするつもりでしたが、結論が出ていないのが現状です。全国のロータリアンがいち早く義援金を贈った先が、急ぎよ、でしたのでガバナー会に東日本震災義捐金の組織を作り、前年度クラブから収めた義捐金の総額が額10億3,800万です、前年度義捐金として支出が1億2,100万、返して頂きたいと言う地区が2地区で4,330万、現在ガバナー会の残高が8億7,200万です。しかしこの金額の決済には前年度ガバナー、34地区、ガバナーの皆様の3分の2の賛成がないと決済出来ず、硬直化しているので、当地区搬出の元RI理事の小沢一彦氏が会長に選出され東日本災害復興基金日本委員会（7月1日）を設立、ガバナー会の義捐金全額日本委員会に全額入れるように各地に要請しているが、まだ未定です。尚昨年度ガバナー会で決定した、孤児の育英基金、5for1（5クラブで1クラブを支える事業です。）この2案は、賛成9地区、反対17地区、未定6地区で否決され、今現在では実行させません。そこで2780地区は2,953万円を、日本委員会への繰り入れを決定しています。（各地域にお願いしているが温度差がある）他にR財団より世界各国の義捐金350万ドルが日本委員会繰り入れされました。今述べたようにガバナー会は動きが取れないので、実際、この日本委員会が各地区各クラブからの申請を実行します。現在100件の申請があり検討しているがこれを実行するには基金が不十分であります。ガバナー会の義捐金が全て繰り入れされても不足と言われてます。そこで、各クラブ1人100ドル以上の寄付の要請が来ています。次週ガバナー訪問のときには以上のような話もして頂けると思ひます。最後にお願ひ有りますが、途中退席者が多くいます、通常例会では30分、次週の場合は1時間時間延長ですが、少しの時間です。最後まで残って頂きたい。先輩諸兄が、築いて頂いた城北ロータリーの伝統が失われていくような気がします。是非宜しくお願いします。

❖ 幹事報告



辻村 彰秀 幹事

*9月14日小田原鈴廣にて会長・幹事会が開催され、会員増強、地区大会、選挙人会、GSE、東日本災害復興日本委員会等の説明・依頼がありました。
*次年度青少年交換派遣学生募集の依頼がありました。心当たりの方がいられる方はお願いします。
*10月11日は夜間例会で二宮神社報徳会館にて行います。本日ご案内をボックスに配布しましたので、出欠席を来週までご提示して下さい。
*いつもお世話になっている富士丸さんが改修の為来週の26日から10月末まで閉店となりその間の例会の昼食は平塚の本社からの配達になります。よって、例会欠席のご連絡は前日までに必ずご連絡下さい。
*来週はガバナー公式訪問で例会が1時間延長になります。地区出向者の方は11時30分に参集をお願いします。

❖ 委員会報告

委員会報告

ロータリー財団増進委員会・・・守屋 善男委員長

先週よりロータリー財団のご寄付をお願い申し上げておりますが、会員の皆様、大変積極的にご寄付いただきましてありがとうございます。ガバナー方針に100%達成することと思ひますので御礼を申し上げます。また、会員の阿部一顕さんが財団への「恒久基金寄付」1,000ドル寄付に対し、早々ご理解頂きご寄付をいただきました。当クラブ19人目となりました。

同好会報告

ゴルフ同好会・・・鈕持 悟幹事

明日予定しておりました第1回ゴルフコンペですが、台風が来ておりますのでキャンセルいたしました。また夜もございませんのでよろしくお願ひ致します。

❖ 出席報告

大木 清 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
9月20日	52(48)	38	1	81.25%
9月13日	52(48)	36	1	77.08%
9月6日	52(49)	39	1	81.63%

【欠席者】 10名
斎藤 永、久保田知子、小川 和夫、石橋 徹、所 真人、杉本 博愛、白井 忠、土岐 博也、三宅 常公、一寸木信雄
【今回MU】 1名
久保田 知子（小田原城北RAC 9/10）
【前回MU】 計0名
増減なし
【前々回MU】 増加1名 計1名
小林 和彦

❖ 卓話

新世代フォーラム



奉仕プロジェクト委員会 中村 唯孝委員長

一昨年私たちクラブでもCLPを導入して組織が大幅に変わりました。RIの考え方は、日本の各のクラブがもう少し活性化していくためにCLPを導入して欲しいという事でCLPを導入したわけですが、そしてその大きな目的の中にプロジェクトというもの各クラブで具体的に、プロジェクトの目標を決め、プロジェクトを通じてクラブ員全員が親睦やあるいはやっている事をもう一度確認してほしいという事が奉仕プロジェクトという委員会が出来た事だと私は思っております。そんなことで昨年は6つのプロジェクトを作ったのですが、なかなか皆様のご理解も十分でなく活性化にはつながらなかったのかなと感じております。今年の杉崎会長はプロジェクトを4つにしようという事で、まずアラリアプロジェクト、そして国際奉仕プロジェクト、チャリティープロジェクト、ローターアクト支援プロジェクトに選ばれました。本日の新世代フォーラムは新世代育成委員会の中のチャリティープロジェクトについて考えていきたいと思ひます。チャリティープロジェクトでは今年度、東日本大震災の被災地の学校へ本になるかはわかりませんが送りたいという計画があります。そんなことで、毎週被災地へボランティアで行っておられる上田会員を窓口にして現地の学校の校長先生を通じて何か現地の新世代の方たちに支援をしたいと考えておりますので上田会員に現地の状況をお聞かせ頂きたいと思ひます。



上田 博和会員

まず、被災地の現在の復興の状況をお話させて頂きたいと思ひます。新聞やテレビ等で皆さんもご存じだと思いますが、現状は本当に進んでいる所と全く進んでいない所と、完全に両極端な状況です。例えば宮城県などは国の方で法律が出来ると、仮設建設もストップがかかっており、その関係でリフォーム出来たお店はスタートが出来ておりますが、流されてしまいガンバロウと言っている人にも何も手をつけてあげられない状況です。また逆に福島は復興が早く、未来像を市民にしっかり発信していることもあり、復興が一番早く現在進んでいる町だと思ひます。しかし風評被害が問題であり、相馬で梨の金賞を5年連続受賞されている農家の方ですが自殺をしてしまいました。私も何人かの方に会いましたが、今は建設会社等で働いて何もやっていない方が非常に多いです。漁師は福島ではほとんど出ておりませんが、原発の関係で東電か

らお金が貰えるという事らしいです。そしてやはり仕事が無いという一つの問題があります。震災で仕事なくなった方が13万人おります。今求人が出ているのが5千人です。こういう状況で今仕事は全くありません。この震災で銀行も地銀もつぶれそうな中、新たな所で商売をしたいのでという事で借り入れを起こしても貸してもらえないのが現状で、昔からやっていた伝統的な商売をやっている方をつぶしてはいけないという事で市民ファンドなどを立ちあげて動いている方がおりますが中々やりきれていないのが現状です。工場についてですが、先日聞いた話ですが、中国に新陽という市があるそうです。その新陽という所が打ち出したプロジェクトが東北支援プロジェクトなのですが、まちの工業団地を全て無料で貸し出します。建物も土地も税金も無料です。皆さんで来て下さい。移住する方の費用も便宜します。というような話があるようで皆悩んでいるようです。そしてチャリティーの話になりますが、鈕持さんからお話を聞きいくつかの学校の校長先生にお話を聞いた所、私は最初サッカーボールやバレーボールなどが無いのではないかと考えていたのですが、プロのスポーツ選手、オリンピック選手、スポーツメーカーがどんどん持って来てくれるので困っていないのが現状のようです。その中で図書館が一気に流されてしまった所が非常に多く、本だとか残る物が一番良いのではないかと私は思っております。

チャリティープロジェクト 鈕持 悟委員長



たくさん義捐金の使い道を考える中で、私たち新世代委員会として、次代を担う新世代の子どもたちに対しチャリティーをしようということになり、上田会員に被災地の現状を聞き色々協議しております。またチャリティーの時期としては3・4月を目標として考えてどのようなものにするか委員会メンバーで考えていきたいと思ひますので、その時には皆様のご協力をお願いいたします。



井上 寛 会員

チャリティー・コンサートをして義捐金を集めるようですが、過去の米山や財団奨学生の中にも音楽を勉強されている方が多く、ロータリーの広がりアピールするためにもその方々も候補に入れいただきご検討してください。